

文学は 国境を超えて

対象

一般

従来、文学はそれを生み出した国の歴史やその国民性と結びつけられ、「国民文学」の観点から研究される傾向がありました。しかし近年、国家越境的な作品の形成や流通・受容に目を向け、「世界文学」としての文学のあり方に対する関心が高まっています。本講座では、外国文学が日本との関わりの中でどのように生み出され、翻訳・翻案を通じてどのように土着化したのか、あるいは逆に、日本文学がどのように海外で受容されてきたのか、文学の豊かな越境的営みを多角的に検証します。

全日 14:00～ / 1 講座 90分 ※10/19[土]のみ 120分

日付	テーマ/講演者
10/5 [土]	日本におけるアメリカ文学史の形成 ～ハーマン・メルヴィルの受容を中心に～ 貞廣 真紀 明治学院大学 文学部教授
10/12 [土]	イザベラ・バードの見た横浜・東京 辻河 元及 明治学院大学 文学部准教授
10/19 [土]	講師2名によるジョイントセッション 『平家物語』～時空と言語・文化の境界を越えて～ マイケル・ワトソン 明治学院大学 国際学部名誉教授 古典文学の外国語訳への期待 ～『源氏物語』英訳を中心に～ 緑川 真知子 早稲田大学古典籍研究所招聘研究員
10/26 [土]	宝塚版・東宝版ミュージカル『ロミオとジュリエット』の日本風アレンジと娯楽の効果 本多 まりえ 明治学院大学 文学部准教授

受講料 2,000円 (全4回)

企画 明治学院大学言語文化研究所

開催形式 横浜キャンパスでの対面講座

お問合せ

明治学院大学 学長室 社会連携課 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37
TEL : 03-5421-5247 (平日 9:30～16:00) E-mail : ykoukai@mguad.meijigakuin.ac.jp

お申込み・詳細情報は
こちらから

